

安全・景観・環境を提案する"群交協"

第78号

群交協だより

URL:<http://www.gunkoukyou.com/>

令和3年1月10日 発行

発行
群馬県交通安全施設業協同組合
前橋市大手町1-2-6 ☎027-223-3343

発行責任者 中 井 正 弘
編集発行人 諏 訪 善 一

群馬県交通安全施設業協同組合

理事長 中井 正弘



あけましておめでとうございます。
組合員の皆様のおかげで無事に新年を迎えることができました。心から感謝申し上げます。
本来であれば今頃、東京オリンピックの話で昨年を振り返っていたことでしょう。このところ日本列島は毎年のように自然災害の脅威にさらされておりますが、世界中が同じ脅威にさらされるということはありませんでした。私たちは今、コロナ禍の中にあり疫病災害という新たな脅威と闘っている最中であり、しかし自然災害と違い疫病災害は世界中の英知が勝利に向け、たつた今も努力しており、人類の力で必ず克服できる災害であります。そして私たち組合員は交通安全施設を通じ交通事故という脅威と闘ってゆかねばなりません。死亡事故こそ減少傾向にありますが、群馬県の交通事故発生率、人口一人当りの自転車による交通事故件数は依然として全国ワースト上位にあります。コロナ禍であるとうと今一度「交通安全施設を通して地域に貢献する群交協」という群交協の基本方針を再確認し、私たちは同じ目的に向

群馬県知事 山本 一太



明けましておめでとうございます。
群馬県交通安全施設業協同組合の皆さまには、健やかな新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。
また県民の命と健康を守るために、最前線で新型コロナウイルス感染症の対応をいただいている医療関係者を始めとする全ての関係者の皆さまに、改めて深く感謝を申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症に加え、豚熱(CSF)の発生など、危機対応に多くの時間と資源を費やした一年でした。新型コロナウイルス感染症は秋口から新たな感染の波が全国を襲い、予断を許さない状況が続いています。また豚熱についても油断できない状況です。今後も自然災害を含め、気候変動によりさまざまな危機管理事案が常態化すると考えております。こうした事態にしっかりと対応するため、さらなる備えを進めていきます。
新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、世界の様相を二変せました。今後もこのウイルスとの厳しい戦いが続きます。この状況下における知事の最大の使命は、県民の皆さまの健康と命を守ることです。また同時に皆さまの暮らしも守っていく必要があります。地域の経済活動を止めることはできません。感染防止の対策と経済活動の両立は難しいかじ取りですが、群馬県と県民を守り抜くために、何としてもやり遂げなければなりません。引き続き、県民の皆さまのご理解とご協力をいただき、力を合わせて、オール群馬で今回の未曾有の危機を乗り越えていきたいと思っております。
昨年十二月、二十年後の本県が目指す姿を描く新・群馬県総合計画の「ビジョン」を策定しました。今年、これを県政の羅針盤として「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、全ての県民が誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生きて、幸福を実感できる自立分散型の社会」の構築を目指します。そして、その原動力となる柱は「始動人を育む教育イノベーション」とみんなで知恵を出し合う「官民共創コミニティ」です。
公立学校における一人一台のパソコンがまもなく県内全ての市町村で整備されます。また昨年整備した県庁三十二階の官民共創スペース「NETSUGEN(ネツゲン)」は、さまざまな分野の人たちが集まり、地域課題を解決するモデルを生み出す「官民共創コミニティ」の中核となる場所です。これらは、多様な個性を持った人材の育成に寄与し、群馬の未来を大きく発展させるものと確信しています。
さらには、本県の優れた農畜産物と全国一の温泉資源を活用した旅行ツアーの造成やぐんまちゃんのアニメ化など、本県の魅力をさまざまな媒体を通して世界に発信していきます。
二ノノールな社会において、本県はさらに輝けるポテンシャルを秘めています。今後も、新型コロナウイルス感染症や自然災害等から県民の命を守るために全力を尽くすと同時に、県民の皆さまがワクワクするような取り組みをさらに加速させていく考えです。
貴組合の皆さまには、引き続き県政へのご理解と協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が、皆さまにとって健康で幸多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。
令和三年一月一日

かっているのだということ忘れないようにしなければなりません。
さて、昨年におけるの組合活動は、「組合活動から絶対に感染者を出さない。」という思いを第一に、残念ながら最小限とせざるを得ませんでした。しかしながら、県との間で締結している「災害時における支援に関する協定」を皆様のご理解で疫病災害にも適用し、「移動自粛要請看板」三種計九十基について災害協定備蓄資材を活用することで、一週間以内という短期間で製作提供し県政へ協力することができました。これも県との日頃からの信頼関係と組合員のご協力があったからこそ実現できたのだと思います。
まだまだコロナ禍の厳しい状況は続きますが、交通安全施設を通じ社会へ貢献する群交協として熱い思いを忘れず、令和三年も組合員及び従業員、そのご家族も含め希望を持って、健康で幸せに過ごすごができますようにご祈念申し上げ新年のあいさついたします。

県土整備部との意見交換

令和二年十一月十二日(木)に群馬県県土整備部の皆様とWeb形式にて、意見交換を行いました。当組合からは、中井理事長をはじめ、各部会理事が出席し、県からは清水昭芳技監、大塚雅昭建設企画課長、宮前勝美道路管理課長に出席していただきました。

意見交換では、交差点付近のライン維持補修や道路案内標識板の標記及び退色などの調査などが議題にありました。

組合からは、道路案内標識板における広角ブリズム型の標準化などを要望しました。また、中井理事長から「新型コロナウイルス対応として四月に災害協定を疫病災害にも適用することとし、不要不急の外出をしないように要請する看板製作について県の要請を受けた際に、組合員各社の防災倉庫に備蓄している差し込み式看板を使用して、短期間にて提供することが出来、備えの重要性を再確認した。」との発言がありました。

清水技監からは、「第十一次群馬県交通安全計画を年度末までに策定して二〇二一年度から本計画に基づいて交通事故減少対策をしっかりと取り組んで行きたい」と考えている。組合の皆様には豊富な経験と優れた技術力を存分に活かしてもらい、引き続き群馬県への力強いご支援とご協力賜りたい。」とのご意見をいただきました。



佐藤基金への寄付

令和二年十一月十二日(木)、交通事故により扶養者を失った子どもたちへ奨学手当などの給付を行う佐藤交通遺児福祉基金に一八万七千三二円を寄付させて頂きました。

寄付金の受贈式は県庁昭和庁舎で行われ、中井理事長から根岸義男常務理事(県道路管理課交通安全対策室長)に寄付金を手渡し、根岸常務理事から感謝状をいただきました。

組合側からは中井理事長のほか榊澤青年部理事、諏訪青年部会長、須藤常務理事が出席しました。

根岸常務理事から「子どもたちが未来に希望を持ち、健やかに成長してゆけるよう、今後も交通遺児を支えていくので、引き続きご理解ご協力をお願いしたい。」とお話をいただきました。

当組合では毎年恒例のつり大会で寄付を呼び掛け、募金及び模擬店の売上を寄付させて頂いております。本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、つり大会は中止となりましたが、組合内に募金箱を設置し、寄付を受け付けました。今後、できる限り子どもたちのために寄付を継続してまいります。



災害協定対応

今年度四月に当組合は、県との災害協定に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた啓発看板を製作・提供しました。四土木事務所、NEXCO東日本の二管理事務所および国土交通省高崎河川国道事務所の二出張所に、「検温しよう」「外出自粛!」「発熱運転×」と記した三種類1セットの看板を30セット提供し、国道17号神流橋、上武道路の新上武橋、国道407号刀水橋などの橋梁付近、関越自動車道、東北自動車道など県南部の県境に設置されました。

看板は高さ140cm、幅55cmで、基面反射・ラミネート加工済です。会員企業に設置した災害用備蓄倉庫の資材を活用することにより一週間未満で納品することができました。

このような緊急事態にも、組合として一致団結し、県と連携して迅速な対応を出来る体制を常日頃から作ることの重要性を、改めて確認したところです。



■組合員

ダイケンテクノ(株)・(株)日装・(株)中井産業・富友産業(株)・富士技工(株)・群馬ライン企画(株)・新日東(株)・(株)コムテックス・(株)サンテック・(株)三積商事・サン(株)・共進安全(株)・三菱産業(株)・昭和サイン(株)・(株)信交・(有)高崎保安機材・中央ライン(株)・(株)日栄ライン工業・(株)ヒロタ・マーキングウェイ(株)・(株)三山・(株)友邦

■賛助会員

(株)アークノハラ那須営業所・(株)吾妻商会交通用品部・アトミクス(株)道路事業部・岩澤建設(株)群馬支店・岳南光機(株)・信号器材(株)北関東営業所・新道路企画(有)桐生支店・スリーエムジャパン(株)トランスポーターセーフティ事業部・積水樹脂(株)群馬工場・燕振興工業(株)・日鉄防食(株)道路資材グループ・日之出水道機器(株)埼玉営業所・扶桑工業(株)群馬営業所・ヨシモトポール(株)関東支店